

平成 21 年度事業報告

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

I. 事業の状況

1. 定期講演会の実施

定期講演会については、本年度は以下のよう
に実施した。

・会場	全国 8 カ所
・開催回数	70 回
・来場者総計	2,773 名
・収入	1,660 千円
・支出	8,108 千円

定期講演会 8 会場の詳細は次のとおり。

①東京会場（原則として毎月第 2 及び第 4 土曜 日午前 10 時より大手町ビル 513 号室）

・実施回数	20 回
・来場者	1,530 名

（以下敬称を略します）

- 4 月 11 日 高史明
三願転入
- 4 月 25 日 菅沼晃
対立を超えるために—Mガーデンディ・ML
キング・ドライラマ 14 世
- 5 月 9 日 佐々木宏幹
仏教文化のダイナミズム
- 5 月 23 日 福田亮成
人が生きることの点と面—弘法大師の
教えを中心に—
- 6 月 13 日 西田正法
七堂伽藍に見る禅の修行—生活を見直す—
- 7 月 11 日 菅原伸郎

- 「第二の人生」を生きる
7 月 25 日 竹村牧男
仏教の環境観
- 9 月 12 日 近田昭夫
“俗に在りつつ俗に非ず” —親鸞の「非僧非
俗」から—
- 9 月 26 日 金光寿郎
わかるということ
- 10 月 10 日 奈良康明
バラバラ社会からツナガリ（縁起）社会へ
- 10 月 24 日 島菌進
仏教と非暴力主義
- 11 月 14 日 杉谷義純
仏教から見た臓器移植
- 11 月 28 日 藤井正雄
死生観の論理構造と仏教
- 12 月 12 日 西來武治
電話相談にみる「生老病死」
- 1 月 9 日 石上善應
観無量寿経が示すもの
- 1 月 23 日 本多静芳
親鸞聖人に学ぶ—痛みと安らぎ—
- 2 月 13 日 田上太秀
ゆだねる心
- 2 月 27 日 木村清孝
「愛語」に思う
- 3 月 13 日 横山紘一
常識を離れてみる
- 3 月 27 日 高史明
如来誓願の薬と智恵の毒
- #### ②大阪会場（原則として毎月第 4 金曜日午後 3 時より堂島アバンザ 14 階）
- | | |
|-------|-------|
| ・実施回数 | 9 回 |
| ・来場者 | 378 名 |
- 4 月 24 日 水谷幸正
仏教の源泉
- 5 月 22 日
インフルエンザ流行のため中止

6月26日 幹栄盛

人生の四季を生きる

7月24日 西山厚

鑑真和上の足跡をたずねて

9月25日 佐々木惠精

ヨーロッパに於ける仏教の現況

10月23日 真城義磨

「私が」という闇

11月27日 小林隆彰

十界互具

1月22日 山田法胤

お釈迦さまの生涯

2月26日 信楽峻磨

仏に救われるということ

3月26日 西村惠信

「自分とは何か」を求めて

③名古屋会場（原則として毎月第3水曜日午後

1時30分よりCRD丸の内ビル9階）

・実施回数 10回

・来場者 339名

4月15日 松平實胤

生かされて生きる力

5月20日 赤池憲昭

死生観から生死観へ

6月17日 衣斐弘行

仏教的“悲嘆（グリーフ）”のケア

7月22日 奈倉道隆

人生の完結期に臨む医療と仏教

9月16日 立川武蔵

ブッダから阿弥陀仏へ—仏のすがたの変容
について—

10月21日 高 史明

「大悲往還」お念仏の真実をいま！

11月18日 西川玄苔

死中生活

1月20日 上沼雅龍

妙心寺開山 無相大師の法統を求めて—関
山慧玄伝と法統行脚

2月17日 田代俊孝

『唯信鈔文意』に学ぶ—加藤辨三郎師に導
かれて—

3月17日 林淳

仏壇の歴史

④福岡会場（原則として毎月第4金曜日午後3 時より福岡センタービル9階）

・実施回数 10回

・来場者 204名

4月24日 神原玄應

「あるがままに」気どらない行き方のすすめ

5月22日 小山一行

仏陀と如来

6月26日 太田心海

真実の宗教

7月24日 大江憲成

行ずる者から聞く者へ

9月25日 藤岡正英

癒しのこころ

10月23日 川副春海

『死』について思うこと

11月27日 鍋島隆啓

信仰とともに生きる

1月22日 田畑正久

彼岸、浄土はどこにあるか

2月26日 藤本至誠

生まれてきた意味

3月26日 平兮宗賢

永遠の生命—花びらは散っても花は散らな
い

⑤防府会場（原則として毎月第2水曜日午後1 時30分より防府とくちJA会館ほか）

・実施回数 7回

・来場者 96名

5月13日 一万田良哲

一緒に考えてみましょう—“転迷開悟”か

ら“おまかせ”へー

6月10日 橋本隆道

文人の旅—山頭火のこころ—

7月8日 児玉 識・島田教明

加藤辨三郎師著『実践・歎異抄入門』から
学んだこと

9月9日 林寛孝

重源上人の浴湯念仏に学ぶ

10月14日 森江俊孝

「少欲と知足」のこころに生きる

11月11日 波佐間正己

日本の神々と仏教

3月10日 児玉 識・島田教明

行く教えと帰る教え

⑥宇部会場（原則として隔月第2金曜日午後1
時30分より宇部市文化会館ほか）

・実施回数 5回

・来場者 83名

5月8日 児玉識・島田教明

加藤辨三郎師著『実践・歎異抄入門』から
学んだこと

7月10日 波佐間正己

日本の神々と仏教

9月11日 一万田良哲

“挑戦の先に見えて来るもの”—感動の喜び

11月13日 岩田啓靖

道元の美しいことば

3月12日 松原徹心

感謝の心に願いは生きる

⑦札幌会場（原則として隔月第3金曜日午後3
時より札幌パークフロントビル4階）

・実施回数 5回

・来場者 85名

5月15日 藤井教公

〈老い〉を考える—仏教の立場から—

7月17日 金石晃陽

信心をとりて礼にせよ

9月18日 藤島建樹

求法の旅路

11月20日 梅庭昭寛

法然と親鸞—800年後のいま

3月19日 巖城孝憲

真の仏弟子

⑧仙台会場（原則として3カ月毎第2金曜日午
後2時より仙台橋本ビル9階）

・実施回数 4回

・来場者 58名

4月10日 華園聰麿

『一言芳談』の世界—変わりゆく時代の生
き方

7月10日 乗元恵三

六度の行願—社会の中に生きる仏教—

10月9日 佐々木邦世

見仏・聞法・詠想

1月8日 丸田善明

時代の閉塞感と仏教—大逆事件百年の
今・・・

2. 各種行事の実施

各種行事については、本年度は下記の行事を
実施した。

①在家仏教坐禅の会

平成21年9月4日・5日

曹洞宗大本山總持寺。参加者25名。

②北陸の古寺を訪ねる旅

平成21年11月4日・5日・6日

永平寺、大乘寺、瑞龍寺、吉崎御坊、瑞泉
寺、妙成寺、宝慶寺

ご法話は、西田正法老師（永平寺）

参加者は25名

3. 出版物の刊行

出版物の刊行については、本年度は以下のよう
に実施した。

・収入	7,893 千円
・支出	34,897 千円

①月刊誌『在家佛教』

毎月1回発行、A5判100頁

▼平成21年4月号

アート 「源氏物語 千年紀 石山寺の美」そ
ごう美術館
老いを生きて一南無アッパ／井上洋治
見えざる罪／二階堂行邦
四季のころを／酒井大岳
無我ということ／今西順吉
わたしの善知識／馬場昭道・金光寿郎
アーカイブス 釈尊のさと／中村元
ブッダ最後の旅をたどる(1) 『ブッダ最後の
旅』を読む／奈良康明
発句経にまなぶ(1) 心意識の運転／金子真介
おくりびと／石上善應
諭吉と兆民／菅原伸郎
仏教ボランティアの現場から(12) 現代の時衆
になりたい／大菅俊幸
俱律究 続・仏教を学ぶ／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・ケサリヤの仏塔／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成21年5月号

アート 「東本願寺の至宝展」東京・高島屋
もったいない／宮坂宥勝
吉野秀雄最晩年の短歌から／大下一真
「共死」のレッスン／川副春海
衆縁和合の法について／田上太秀
往相と還相／波佐間正己
映画『禅 ZEN』と女性／此経啓助

阿修羅に想う／多川良俊

阿修羅／石上善應

おくりびと／菅原伸郎

ブッダ最後の旅をたどる(2) 霊鷲山にて／奈
良康明

仏教ボランティアの現場から(13) 善友をもつ
には、自らも善友に／大菅俊幸

発句経にまなぶ(2) 怨み心の解決／金子真介
俱律究 仏教系ボランティア／神田忠

加藤辨三郎・言葉抄

今月の表紙・ヴェーサーリーで／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成21年6月号

アート 「尼門跡寺院の世界」東京藝術大学美
術館
仏画を描く楽しみ／真鍋俊照
微笑について／野呂昶
<いのち>ゆたかに生きる心意気／中村了權
在家仏教者の死生観(前編) 日本の文芸にみる
「無常」／島蘭進
則天去私と良寛／安田未知夫・金光寿郎
飛鳥時代 仏教と人びと(1)／田村圓澄
四季の仏教行事 巡礼・坂東三十三ヶ所／黒川
文字
忘れえぬ罪／菅原伸郎
少欲と質素／石上善應
ブッダ最後の旅をたどる(3) 国王に戦争を戒
める／奈良康明
仏教ボランティアの現場から(14) 日本人は怖
い人たちではなかった／大菅俊幸
俱律究 海外の仏教／神田忠
発句経にまなぶ(3) 不放逸／金子真介
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・ヴェーサーリーの土の碗／内藤喜
八郎
おぼえよう となえよう

▼平成21年7月号

アート 「不折の愛した龍門二十品」書道博物
館

仏の門／今成元昭
おもかげの聖徳太子／永田美穂
在家仏教者の死生観（後編）小林一茶の「うき世」／島藺進
愚者の道一法然・親鸞二大法会に学ぶもの／亀井鑛
飛鳥時代 仏教と人びと（2）／田村圓澄
図書 じつはモダンな仏教の「和」／岩井昌悟
いのちのほほえみ そらまめ／野呂昶
尊厳ある葬儀／石上善應
神のはたらき／菅原伸郎
ブッダ最後の旅をたどる（4）修行者の心得を説く／奈良康明
発句経にまなぶ（4）華／金子真介
俱律究 仏像／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・デカン高原の母／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 21 年 8 月号

アート 「日本建築は特異なのか」国立歴史民族博物館
小宰相の想夫恋／三浦勝男
力ある仏教倫理の確かな伝承が求められている／堀内伸二
どうしたら阿弥陀仏に出遇えるか／信楽峻磨
三河の禅僧 鈴木正三／林淳
飛鳥時代 仏教と人びと（3）／田村圓澄
いのちのほほえみ かぼちゃ／野呂昶
前大統領の死／菅原伸郎
仏教の美／石上善應
ブッダ最後の旅をたどる（5）僧院の在り方／奈良康明
発句経にまなぶ（5）賢哲／金子真介
俱律究 インターネットで本を探す、買う／神田忠
仏教ボランティアの現場から（15）現代の「駆け込み寺」／大菅俊幸
加藤辨三郎・言葉抄

今月の表紙・燃える火の教え／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 21 年 9 月号

アート 「聖地寧波」奈良国立博物館
便利になって失ったもの／本多弘之
いま生命あるはありがたし／山本文溪
戦争体験の話／氣多雅子
生かされて生かして生きている／真城義磨
和歌から見た道元の世界／松本章男・金光寿郎
「安心して悩む」ことのできる社会／藤澤克己
四季の仏教行事 金峯山寺の蓮華会／黒川文子
飛鳥時代 仏教と人びと（4）／田村圓澄
いのちのほほえみ みえないストロー／野呂昶
運慶／石上善應
五輪を考える／菅原伸郎
ブッダ最後の旅をたどる（6）真の宗教者の見極め／奈良康明
俱律究 オンライン・ツール／神田忠
発句経にまなぶ（6）述千／金子真介
今月号の種子
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・ガンジスの中洲／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 21 年 10 月号

アート 「芭蕉<奥の細道>からの贈り物」出光美術館
短い弔辞／大谷哲夫
売茶翁に憧れて／川西蘭
宗教文化教育のススメ／井上順孝
大悲ものうきことなし／竹村牧男
『典座教訓』の三心と「四摂法」／森江俊孝
飛鳥時代 仏教と人びと（5）／田村圓澄
いのちのほほえみ 柿／野呂昶
儀式の本来／菅原伸郎
播磨の浄土寺／石上善應
発句経にまなぶ（7）刀杖／金子真介
ブッダ最後の旅をたどる（7）地獄と天界を説く／奈良康明

俱律究 仏教の旅／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・菩提樹／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 21 年 11 月号

アート 「道教の美術」大阪市立美術館
在家と平信徒／八木誠一
「メメント・モリ」を学ぶ人たち／内藤いづみ
仏のいのち 私のいのち／村上大朗
京都町衆を支えた信仰／浜島典彦
浄土を実感する母／加藤智見
飛鳥時代 仏教と人びと (6)／田村圓澄
追悼・松林宗恵先生 松林宗恵監督を慕って／
西來武治
出会いを大切にされた松林先生／馬場昭道
死んだらどうなるか／松林宗恵
いのちのほほえみ のぎく／野呂昶
前田常作氏の観想／石上善應
他者の問題／菅原伸郎
ブッダ最後の旅をたどる (8) 土地神への供養
／奈良康明
発句経にまなぶ (8) 自己／金子真介
俱律究 クラウドの衝撃／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・尼連禪河の樹の下で／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 21 年 12 月号

アート 「皇室の名宝」東京国立博物館
日蝕は地上も見て／真野龍海
豊かさと便利さの狭間で／日野英宣
挙手／服部順空
今ここをただ一筋に歩みゆく (前編) 宗教と
は?／青山俊董
精神主義と現代／寺川俊昭・金光寿郎
飛鳥時代 仏教と人びと (7・終)／田村圓澄
アーカイブス 坐禅のすすめ／玉城康四郎
いのちのほほえみ 冬のバラ／野呂昶
他者の問題 2／菅原伸郎

観音道／石上善應
発句経にまなぶ (9・終) 寂静／金子真介
ブッダ最後の旅をたどる (9) 悟りへの道・四
諦八正道／奈良康明
俱律究 WEB2.0 とは何だったのか／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・ブッダガヤーの幻想／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 22 年 1 月号

アート 「聖地チベット」上野の森美術館
高野山蓮華定院／立松和平
親と子／仏と儒／池見澄隆
「日本仏教」研究のひろがり／乗元恵三
「第二に人生」を生きる／菅原伸郎
今ここをただ一筋に歩みゆく (後編) 仏道と
は?／青山俊董
〈老い〉を考える／藤井教公
アーカイブス 思想の底に流れるもの／金子大
榮
いのちのほほえみ レモン／野呂昶
鎌倉大仏／石上善應
ブッダ最後の旅をたどる (10) 遙かなる悟りを
目指して／奈良康明
俱律究 情報収集のテクニック (1)／神田忠
加藤辨三郎・言葉抄
今月の表紙・ブッダガヤーの朝／内藤喜八郎
おぼえよう となえよう

▼平成 22 年 2 月号

アート 「菩薩たちの夢」神奈川県立金沢文庫
唐招提寺と鑑真和上像／上原和
ビハラー有縁墓「縁」の建立／田宮仁
僧侶は高度専門職者／蓑輪顕量
愚の上に又愚にかへる／石上善應
無碍の一道／瓜生津隆真
四季の仏教行事 一ツ火法要／黒川文子
何があっても大丈夫／藤谷知道
アーカイブス 仏教の慈悲／中村元
いのちのほほえみ 苔の花／野呂昶

幹事長発言／菅原伸郎

ブッダ最後の旅をたどる (11) 遊女に法を説く
／奈良康明

俱律究 情報収集のテクニック (2)／神田忠

加藤辨三郎・言葉抄

今月の表紙・シャカ族の国の仏の塔／内藤喜八郎

おぼえよう となえよう

▼平成 22 年 3 月号

アート 「親鸞 茨城滞在 20 年の軌跡」茨城県立歴史館

大仏開眼と渡来の人びと／上田正昭

新「食事の言葉」の制定に関わって／満井秀城
見果てぬ夢／三友量順

自力・他力を超える道／中西智海

「色即是空」から「空即是色」へ／丘山新
外科医として身につけて欲しい仏教的素養／田畑正久

いのちのほほえみ すみれ／野呂昶

石窟庵／石上善應

人生の授業／菅原伸郎

ブッダ最後の旅をたどる (12) 旅に病む／奈良康明

俱律究 5 分でできる情報発信「twitter」／
神田忠

加藤辨三郎・言葉抄

今月の表紙・ブッタ誕生の地ルンビニー／内藤喜八郎

おぼえよう となえよう

②書籍の重版

金子大榮著「大無量寿経講話 (上)」

(384 頁) 50 部

4. その他目的を達するために必要な事業

①海外の仏教徒との交流を深め雑誌および図書の交換

韓国文洋法律事務所

韓国浄土真宗学会

韓国仏教太古宗

韓国円光大学

中国仏教協会

ブラジル日本文化研究所

ブラジル天理文庫

カリフォルニア仏教研究所

カリフォルニア東本願寺

シカゴ大学東アジア図書館

ザ・ワールド・オブ・インディア

ニューヨーク金剛菩提寺

ヨーロッパ禅道場

カナダ禅蓮寺

ハワイ浄土宗別院

②国公立図書館並びに大学図書館及び刑務所へ「在家佛教」誌を毎月寄贈

国立国会図書館、東京・京都・奈良・九州の各国立博物館

東京都・千葉県・神奈川県・埼玉各県の都立、
県立、市立の各公立図書館

東京大学付属図書館、筑波大学、駒澤大学、大正大学、立正大学、東洋大学ほかの大学研究機関

NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、東京新聞、北海道新聞、西日本新聞ほかの報道機関

③仏教良書の推薦紹介

④講師派遣幹旋